H27補正　諏訪圏６市町村によるsuwaブランド創造事業

医療ﾍﾙｽｹｱ機器分野への参入に向けた人材育成

SUWAブランドメディカル100

開発支援

試作支援

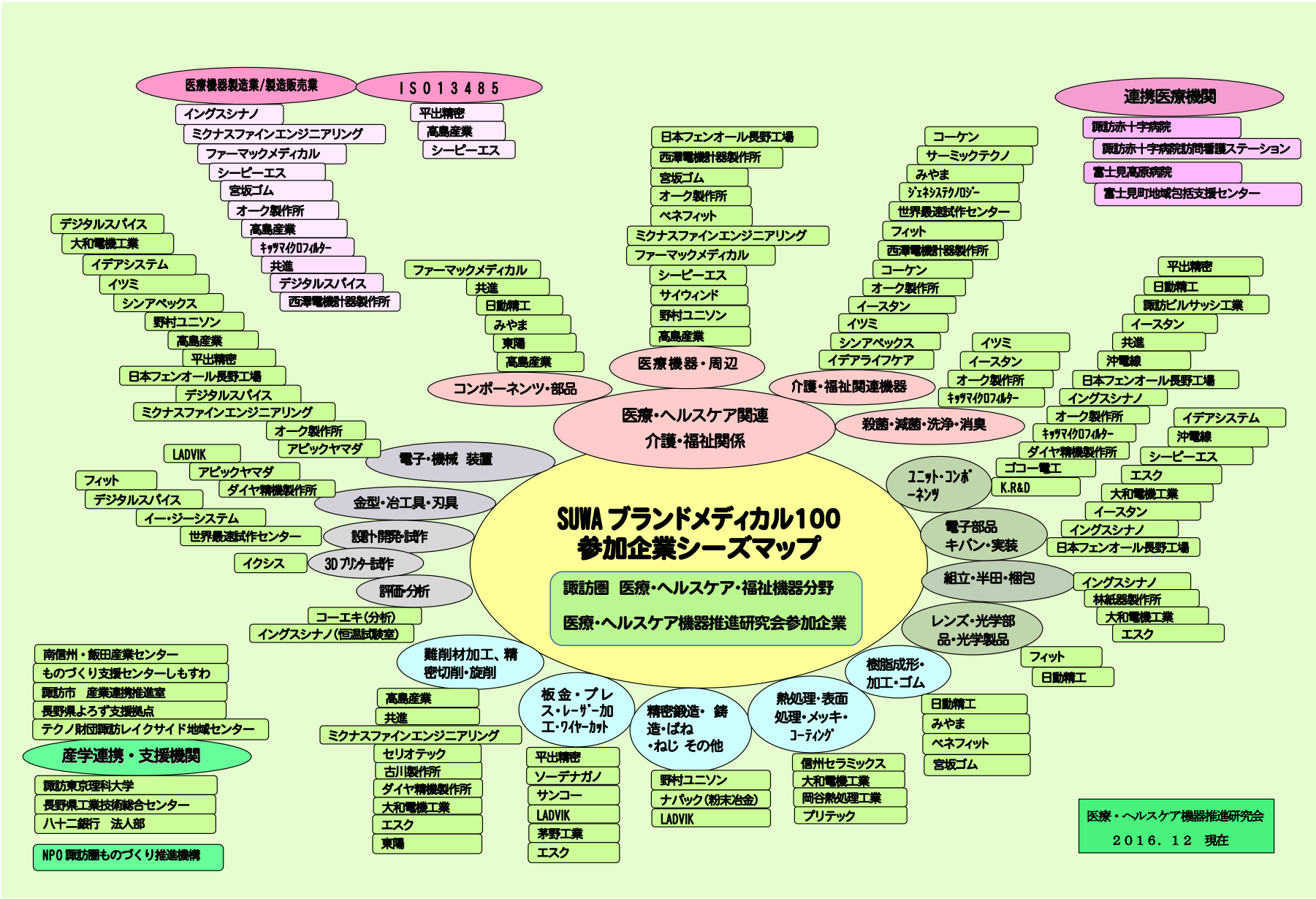
情報拡大

研究会メルマガによる情報提供

- Ⅰ　医療・ヘルスケア機器推進研究会の推進
  - セミナー・講演会・交流会
- Ⅱ　地域基幹病院との交流
  - 諏訪赤十字病院
  - 富士見高原病院
- Ⅲ　個別テーマ・企業連携開発テーマ推進
  - 球乗り型の車いすの開発
  - 見守りシステムの実用化
  - 医療・福祉：現場課題解決テーマ
- Ⅳ　外部展示会・商談会活用
  - 本郷展示交流会
  - 医療機器・ものづくり商談会
  - ものづくり医療福祉機器展示交流会
- Ⅴ　諏訪圏工業メッセ　テーマゾーンの企画・推進
  - INDEX展示
    - ・医療・福祉関連製品・技術の紹介・展示
    - ・研究会会員の開発製品の紹介・展示
    - ・医療を目指す「ひと技」の紹介・展示

Ⅰ　医療・ヘルスケア機器推進研究会の推進

推進研究会エントリー企業・団体



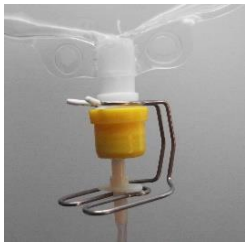
II　地域基幹病院との交流

諏訪赤十字病院

富士見高原病院

- **諏訪赤十字病院との合同研究会活動　（日赤分科会）**
- 分科会で提示の課題解決

- 点滴クリップの試作展開





- 人工呼吸器用チューブフォルダーの試作展開
- 手指衛生カウンターの試作展開

Ⅲ　個別テーマ･企業連携開発テーマ推進

球乗り型の車いすの開発

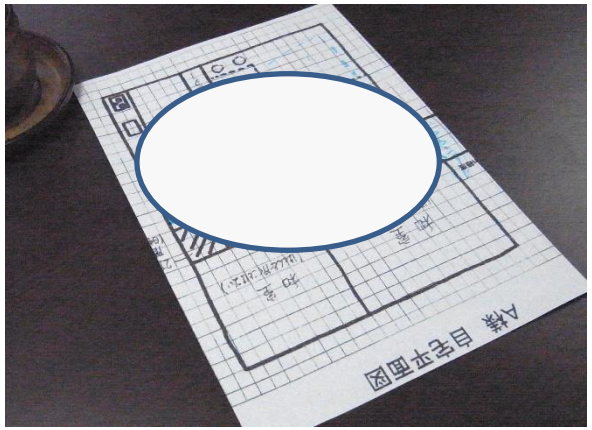
医療･福祉:現場課題解決テーマ

見守りシステムの実用化

- 諏訪赤十字病院との合同研究会活動　（日赤分科会）
  - ・訪問看護ステーションの課題解決
  - ・カスタマイズ可能な見守り用の機器
- 富士見高原病院との交流
  - ・老健施設あららぎ、地域包括支援センターの課題解決
  - ・見守り対象者の個別対応可能な見守り用の機器

＊＊富士見町地域包括支援センターと連携した実証事例





ドップラーセンサー



日経産業新聞　第三種郵便物認可

高度介護ロボ「30年以降実用化」

政府の推進会合　AI活用工程表案

政府の構造改革徹底推進会合は2日、医療・介護分野での人工知能（AI）の研究開発と産業化に向けた工程表案を公表した。AIが人の意思を予測して動く高度な介護ロボットを、2030年以降に実用化する目標を盛り込んだ。

AIは、第4次産業革命の実現をけん引する中心的な最先端技術。AI技術開発の司令塔である産官学組織「人工知能技術戦略会議」が中心となって工程表を来年3月までに取りまとめ、来年半ばに策定する新たな成長戦略に盛り込む。

工程表案によると、30年以降には、AIが介護を受ける人の表情や声色から精神状態や感情を理解し、ロボットが作業に当たる。人に代わって一定の作業ができるロボットの開発や導入が進んでいるとも想定した。

20年から30年までは、人の意思で動いたり、介護者と協調して動いたりするロボットの開発や利用が進むと予測。人の動作や行動パターンをAIが学習し、独居老人らの体調の異常を検知する見守りシステムの実現も目指す。

AIを活用する分野としては「健康、医療・介護」、「空間の移動」、「生産性」、「セキュリティー」の四つを

医療・介護分野でのAI実用化に向けた工程表案

現在から2020年まで
- AIで言葉を理解する介護ロボットがコミュニケーションや、車いすからベッドへの人の移動などを一部支援
- 独居老人の行動をセンサーを活用して把握し、AIが異常を検知した場合に緊急通報

2020年～30年まで
- 人の意思で動いたり、介護者と協調して動いたりする介護ロボットの開発や利用が進む
- 人の動作や行動パターンをAIが学習し、体調の異常も検知する見守りシステムを実現

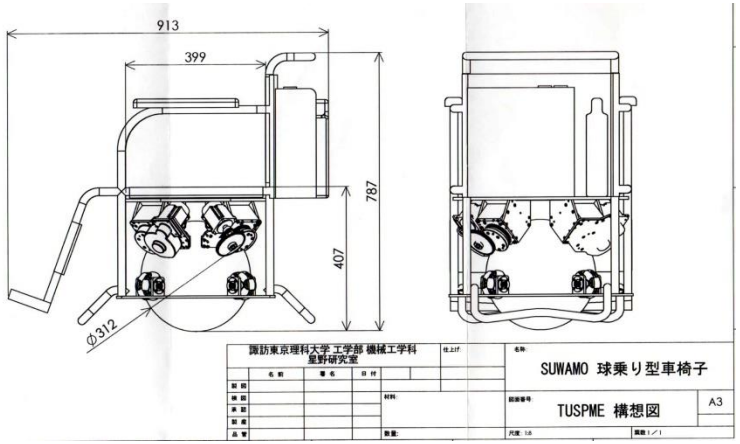
30年以降～
- AIが人の表情や声色から精神状態、感情を理解し、ロボットが介護に当たる
- 人に代わって一定の作業ができる介護ロボットの開発や導入が進む

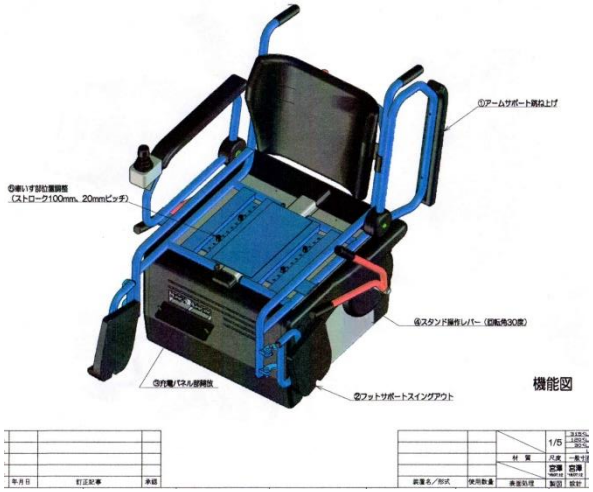
第4次産業革命　人工知能（AI）やロボットなどを駆使してあらゆる産業で生産効率を飛躍的に高めようという最近の世界的な取り組み。蒸気機関の発明（第1次）、電力を活用した大量生産（第2次）、コンピューターの発達による生産の自動化（第3次）に続く技術革新として期待されている。安倍晋三政権はことし5月、第4次産業革命の推進によって2020年までに30兆円の新たな関連市場を生み出す目標を打ち出した。

III 個別テーマ・企業連携開発テーマ推進

- 球乗り型の車いすの開発
- 見守りシステムの実用化
- 医療・福祉:現場課題解決テーマ







Ⅲ 個別テーマ・企業連携開発テーマ推進

- 球乗り型の車いすの開発
- 見守りシステムの実用化
- 医療・福祉：現場課題解決テーマ

推進研究会課題テーマ 検討項目案

No.	テーマ名	進行	ノミネート会社	検討項目案（今後の研究会で進める事）
1	在宅老人のスマートケアシステム	現在進行中		・現状の開発中のモノをベースとする ・電灯内へのセンサー内蔵等の開発の検討 ・新センサーの可能性検討(理科大等？) ・製品の構成部材、設計の最適化、低コスト化、新機能開発など
2	病院抜け出し防止	現在進行中		・現状の開発中のモノをベースとする ・より小型のTAGの開発 ・製品の構成部材、設計の最適化、低コスト化、新機能開発など
3	車椅子の消臭（滅菌）	現在進行中		・現状の開発中のモノをベースとする ・パラリンピック対応などの応用展開を検討する
4	カウンター付き手指洗浄	現在進行中		・現状の開発中のモノをベースとする ・製品の構成部材、設計の最適化、低コスト化、新機能開発など
5	点滴クリップ	現在進行中		・現状の開発中のモノをベースとする、販路拡大の模索
6	バックボード固定具	今後開発予定		・新規に推進研究会を立ち上げる ・消防署、医師など必要なところへのヒヤリング実施 ・具体的な構造　等の検討
7	訪問看護で携帯できるモニター	今後開発予定		・新規に推進研究会を立ち上げる ・具体的な方式　進め方　等の検討（長期テーマ）
8	フルオレセイン試験紙ホルダー	今後開発予定		・イクシス様を中心に具体的な製品開発を推進する
9	携帯型輸液ポンプ	今後開発予定		・一旦、推進を保留
10	医療機器用小型静音コンプレッサ	今後開発予定		・一旦、推進を保留するが、情報収集は継続する ・アイディア会議を実施する
11	血管の可視化アイテム	今後開発予定		・新規に推進研究会を立ち上げる ・諏訪東京理科大清水研究室と連携する ・今年中に基礎試作する
12	段ボールの福祉機器	今後開発予定		・別途スワモにて対応検討する（小町谷AD）
13	カテーテル受け台	今後開発予定		・スワモ手作り試作で日赤様より高評価を得ている方式にて開発 ・日赤様要望の用途以外の用途への広がりも模索する
			○印：中心推進企業	

Ⅳ 外部展示会・商談会活用

- 本郷展示交流会
- 医療機器・ものづくり商談会
- ものづくり医療福祉機器展示交流会



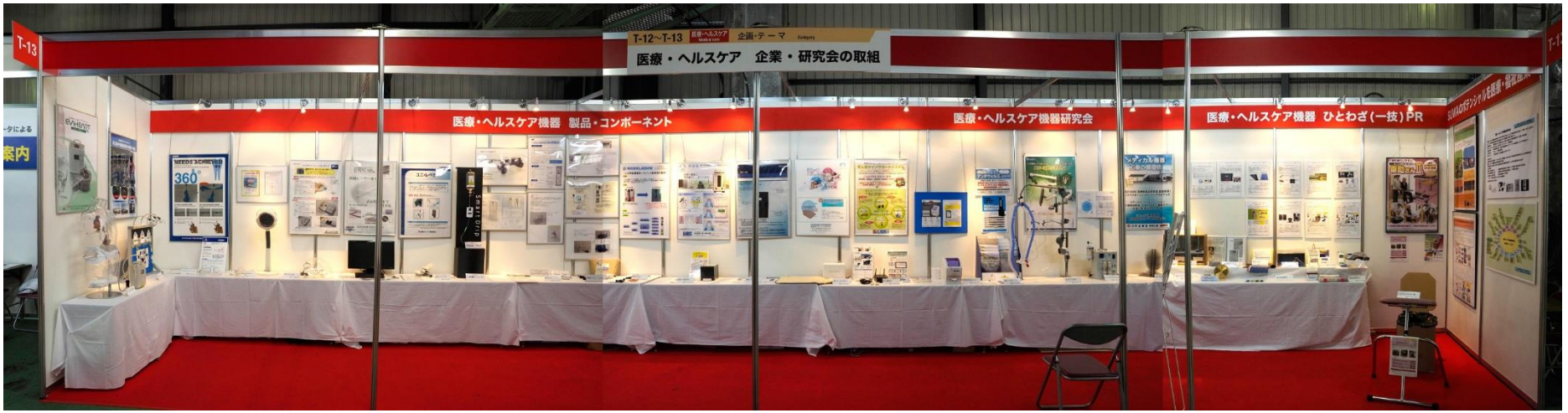




Ⅴ 諏訪圏工業メッセ テーマゾーンの企画・推進

INDEX展示

- 医療・福祉関連製品・技術の紹介・展示
- 研究会会員の開発製品の紹介・展示
- 医療を目指す「ひと技」の紹介・展示



医療ﾍﾙｽｹｱ機器分野へ
の参入に向けた人材育成

SUWAブランド
メディカル100

開発支援
試作支援
情報拡大

今後の取り組み

推進研究会課題取り組みテーマの展開
・個別テーマ推進による小さな成功例の積み上げ

諏訪圏での　産・学・官・金・医・工　連携による
在宅医療モデルの先行取り組みの試行
・コンセプトの作成
・ビジネスモデルの構築
・マイルストーン